



ENERGY CONSERVATION GRAND PRIZE

省エネ大賞 2026



省エネ事例部門に「金融機関等分野」を新設しました

ENERGY CONSERVATION CENTER JAPAN

本表彰制度は優れた省エネ・脱炭素の取り組みやエネルギー効率やCO₂削減に優れた製品・ビジネスモデルを表彰し、これを我が国全体に普及・広報することによりカーボンニュートラルに向けた省エネ型社会の構築を目指すことを目的としております。

= 応募部門 =

■ 省エネ事例部門

事業者や事業場における省エネや脱炭素推進・支援活動

■ 製品・ビジネスモデル部門

エネルギー使用の合理化につながる製品、システムやビジネスモデル

奮ってご応募ください!!

2026年度 応募期間

2026年 4月1日 → 6月17日



主催 : 一般財団法人 省エネルギーセンター
後援 : 経済産業省 (予定)

■ お問い合わせ

一般財団法人 省エネルギーセンター 省エネ大賞事務局

E-mail taisho@eccj.or.jp

<https://www.eccj.or.jp/bigaward/item.html>



応募要領

詳細は省エネルギーセンターHPの応募要領をご覧ください

応募対象

省エネを中心とするエネルギー利用の最適化を推進している事業者等及び省エネ性・CO₂削減において優れた製品やビジネスモデル等を開発・販売している事業者を対象とします。事例部門の具体的な応募対象者としては、省エネ推進活動を実践・支援する事業者及びこれに属する工場、事業場、小集団グループ等であり、製品・ビジネスモデル部門では、省エネに資する製品やビジネスモデルを提供する事業者を指します。またこれら事業者を支援する事業者も対象となります。

部門及び分野

■省エネ事例部門（10分野）

産業、業務、輸送分野を問わず、エネルギー管理体制や管理方法といった管理運用面からの取り組みや省エネ支援、高効率なプロセスやシステム、機器への改善といったハード面からの省エネ推進活動等が対象となります。

【分野】 ア. CGO・企業等分野 イ. 産業分野 ウ. 業務分野 エ. ZEB・ZEH分野 オ. 輸送分野
カ. 支援・サービス分野 キ. 金融機関等分野 ク. 共同実施分野 ケ. 電気需要最適化分野 コ. 小集団活動分野

■製品・ビジネスモデル部門（9分野）

産業、業務、家庭、輸送分野における優れた省エネ性や市場性等を有する「製品（要素製品、資材・部品等を含む）やシステム」又は「ビジネスモデル」であり、原則として本年11月1日時点においてユーザーが国内で購入、契約可能なものを対象とします。

【分野】 ア. 産業分野 イ. 業務分野 ウ. 家庭分野 エ. 輸送分野 オ. 建築分野
カ. ZEB・ZEH分野 キ. 電気需要最適化分野 ク. ビジネスモデル分野 ケ. 省エネコミュニケーション分野

応募方法

応募要領の記載に従い必要書類を記載例を参考に作成し、期日までに提出をお願いします。
HP参照 <https://www.eccj.or.jp/bigaward/item.html>

審査方法

学識経験者等から構成する審査専門委員会で厳正に審査を行います。
1次審査は書類選考、2次審査は発表またはビデオ審査を行い、その後現地確認審査を経て最終審査である3次審査後、運営委員会を経て、受賞候補者を決定します。

応募から表彰までの流れ

